

県政出張トーク実施結果報告

部局課室名	県土整備部 道路管理課	テーマ	歩道のユニバーサルデザイン
実施日時	平成22年8月5日(木) 9:30~12:00	実施場所	山梨県ボランティアセンター ホール (現地調査: ボランティア通り~平和通り)
県出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県土整備部長 ・ 県土整備部技監 ・ 道路管理課長 ・ 中北建設事務所長 	参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山梨県身体障害者連合福祉会 2名 ・ 山梨県車いす生活者の会 4名 ・ 山梨県視覚障害者福祉協会 5名 ・ 山梨大学大学院医学工学総合研究部 1名 ・ 山梨県ボランティア協会 1名
主な発言内容		県 当日の回答	県 後日の対応方針
<p>《県視覚障害者福祉協会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ここは段差が無いが、この程度のスロープ(高さ2cm:幅20cm)でも認識できる。 ・ 点字ブロック、エスコートゾーンはほしい。 ・ 交差点の点ブロック(注意ブロック)は広めに設置してほしい。 ・ スロープに凹凸があったほうが良い。 ・ 音声付き信号機に交差点名のアナウンスもほしい。 ・ 歩道の巻き込みは位置の判断になるため、今あるものが無くなると困る。 ・ 盲導犬の誘導だと自転車道に入ってしまう ・ 歩道のタイルは凹凸があって点字ブロックの誤認や杖が掛かったりする。 ・ 横断歩道の鉄鋌はあまり意味がない。 (エスコートゾーン設置まではあったほうがよい) <p>《車いす生活者の会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア通りは段差が無く通行しやすい。 ・ 乗り入れ部の5cm段差はあがれない。 ・ グレーチングの目は細目に。設置方向にも配慮を。 ・ 甲府警察署前交差点は、車いすが渡れない。 		<p>[9:30~10:30] 現地調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア通りは、視覚障害者にも車いす利用者にも通りやすいと言われている。現地を実際に検証したい。 <p>(健常者では気づかないことへの指摘が現地で認識でき、有意義であった)</p> <p>(現地で出た意見を意見交換の中で検討した)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ グレーチングの改善などは、すぐできるため事務所の補修工事等で対応する。

主な発言内容	県 当日の回答	県 後日の対応方針
<p>《車いす生活者の会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちの声を聞いてもらえるこのような場を作っていただき、ありがたく思う。 ・ボランティア通りは、私たちにとって模範的な道路です。段差のある道路は、車いす生活者にとって、大変通り負担です。今後、このような道路が、基本的な形となることを望みます。 <p>《県視覚障害者福祉協会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路の計画や現状の問題の改善について、私たち障害者の声を聞いて頂くことに感謝します。 ・歩車道の段差については、私たち視覚障害のある者と車いす利用者では意見が違うが、折り合いをつけることが大切だと思う。 ・先ほど現地で確認したとおり、2cmの段差が無くても、車道から歩道に2cmのスロープがあれば視覚障害者でも認識できる。ただし、点字ブロックやエスコートゾーンは条件となる。段差とセットで考えてほしい。 	<p>[10:30~12:00] 意見交換</p> <p>【歩道と車道の段差について】 車いす利用者にとっても、目の不自由な方々にとっても、通りやすい歩道だと言われている。現地調査を踏まえて、どのように考えるか。(2cmの段差が無いがどうか)</p>	

主な発言内容	県 当日の回答	県 後日の対応方針
<p>・甲府駅南口でも、整備の計画があるようだが、模範になるような道路にしてほしい。</p> <p>・点字ブロックの色についても「黄色が望ましい」となっている。周囲の色との関係で変更する場合でも、輝度差2.0以上が基準となっている。</p> <p>《山梨大学》</p> <p>・現地調査も含めて、段差について皆さんの意見を聞いて、基準の方向性が見えてきた気がします。</p> <p>・県視覚障害者福祉協会の方に聞きたいが、エスコートゾーンの凹凸の配置で、今車道にすることが認識できるのですか。</p> <p>《県視覚障害者福祉協会》</p> <p>・エスコートゾーンは認識できます。</p> <p>《山梨大学》</p> <p>・エスコートゾーンとセットで考えると、誤認することは防げる。</p> <p>《県視覚障害者福祉協会》</p> <p>・エスコートゾーンを知らない者もいる。やはり、2cmでなくても、段差は必要ではないか。</p> <p>・段差は無くても、2cmの高さの差は、作ってもらいたい。2cmスロープはお願いしたい。なだらかスロープやフラットでは、歩道と車道が認識できない。</p> <p>・ボランティア通りくらいのスロープは、ほしい。</p> <p>《車いす生活者の会》</p> <p>・ボランティア通りが、視覚障害者にも車いす利用者にも理想どと言う意見が多い。これを、模範にしてほしい。</p>	<p>・歩道と車道の段差については、皆さんの意見からも、ボランティア通りが模範になると思います。今後の基準づくりの参考になる。</p>	

主な発言内容	県 当日の回答	県 後日の対応方針
<p>《車いす生活者の会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路など計画する上でのチェック機関を作って、ユニバーサルデザインの観点でチェックしたらいい。 <p>《県視覚障害者福祉協会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20cmというのは、2cmの高さを20cmで擦りつけることか。20cmの高さをつけるのか。 ・乗り入れ部の5cmはどうか。 ・段差をなくすと車が入りやすく、歩道に駐車してしまう恐れがある。 ・マナーの問題もあると思う。 <p>《車いす生活者の会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車は、5cmの段差ですでに駐車している。2cmになっても変わらない。 ・ボランティア通りの乗り入れは、車いすでも通行ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道を使う方々には、いろいろな意見があることが判りました。先ほど意見にもあったように、視覚障害者と車いす利用者で、お互い譲歩し合って使いやすいものを作ることが大切。 ・歩道と車道の段差は2cmで、それをスロープ（20cm程度）で結ぶのを基本に考えていく。 ・そのためには、点字ブロック、エスコートゾーンはセットで考えていく。（ボランティア通りを模範） ・県、国、市も交えて、歩道の段差について山梨の方向性、マニュアルを作っていきたい。 ・チェック機関については、まず山梨県の基準を作ってから検討しなければならない。 ・2cmの高さを、20cmくらいのスロープで擦りつけます。（10%ほどの勾配になる） ・乗り入れ部の5cm段差については、自転車の転倒事故や、車いすの通行不能などの問題がある。2cm～5cmの擦りつけで、車いすも利用可能にしていきたいと考える。 	<p>《国土交通省》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県と協力して、山梨の歩道構造の方向性を決めていきたい。 <p>《甲府市》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア通りは1cm～5cmだがどうか。

主な発言内容	県 当日の回答	県 後日の対応方針
<p>《山梨大学》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土木構造物は、図面だけではなかなか判らないので、できるだけ実物を作って確認、検証しながら、マニュアルづくりをしてもらいたい。 ・お互い理解しているようだが、実物を見て初めて、認識の違いに気づくことが多い。 <p>《車いす生活者の会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マウントアップの歩道が、県内にはまだまだたくさん有って、歩道に上れない。スロープをなだらかにしてもらいたい。 <p>《県視覚障害者福祉協会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マウントアップ歩道は、視覚障害者にも歩きにくい。解消していただきたい。 <p>《身体障害者連合福祉会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健常者には、見た目に良いものも障害者には、大きな負担となっている。 ・見た目だけ（景観だけ）ではなく、使う人の立場に立って計画してもらいたい。 <p>《車いす生活者の会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河口湖駅前広場を整備したのに、タクシー乗り場に段差があって使いにくい。設計段階でチェックできなかったか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と協力して、まずはマニュアルを作って基準化していきたい。その課程で、皆様の意見を伺いたい。 ・マウントアップについては、健常者にも不評です。県では、フラットにする工事を毎年4Kmほど行っている。 ・皆さんの意見、要望を聞いて順次改良していきたい。 ・利用者の多いところから、優先的に改良していきたい。 ・段差については、基準化に向け検討していきます。 <p>【歩道を利用する上での問題点】</p> <p>《山梨運輸局》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河口湖駅は改修に伴いユニバーサルデザインを考えていると思うが、使いづらい意見があるので、町と駅に確認します。 	<p>《山梨運輸局》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河口湖駅前タクシー乗り場の段差については、要望に基づき、改修工事を施した。

主な発言内容	県 当日の回答	県 後日の対応方針
<p>《県視覚障害者福祉協会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エスコートゾーンについては、できるだけ設置した頂きたい。 特に、広い歩道についてはお願いしたい。 ・点字ブロックとの連続性も気をつけて設置願いたい。 ・自転車道についても、盲導犬は左側を歩くため、誤って自転車に入ってしまうことがある。 <p>《車いす生活者の会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道に横断勾配がついていて、車いすにはつらい箇所がある。 ・景観のためのタイルや石畳の歩道は、最悪です。 ・点字ブロックの凸凹もつらいです。狭いブロックを使うことはできないか。 <p>《県視覚障害者福祉協会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山梨は道路が比較的狭いので、必ずしも基準通りにならないこともある。 そういう時に相談して頂きたい。 ・都庁も点字ブロックで議論になった。図書館でも議論があったが、美観だけで決めないでほしい。 ・甲府駅北口の点字ブロックも当初景観に考慮したグレーだったが、最終的には私たちの意見を聴いて、黄色にしてもらった。 黄色に違和感があるとの意見もない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エスコートゾーンについては、甲府駅市役所前までの横断歩道には、設置していきます。 ・自転車道と盲導犬の誘導の問題については、全国の事例も踏まえて検討していきます。 ・歩道の排水のための勾配ですが、改善の方向で検討します。 ・タイルなどの路面の凹凸は、景観などの関係で使用する場合があるが、目地を狭くしたり、平坦なものを使用するなど、配慮した計画としたい。 ・点字ブロックの幅はJ I Sで決まっているので、狭いものを使うことはできない。 過去（古いもの）には狭いものがあった。 	

主な発言内容	県 当日の回答	県 後日の対応方針
<p>《県視覚障害者福祉協会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・甲府駅前には放置自転車が多い。山交前を歩いていて、何台も将棋倒しに倒したこともある。 ・整備計画には是非、放置自転車対策も考えてほしい。 <p>《山梨大学》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造る側も考えて造っているが、まだ判らないところがある。 ・このような機会は大変重要。 ・便利と不都合は、裏表。 ・実際のモデルを造って、検証が大切。 	<p>【まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日はありがとうございました。 <p>いろいろな利用者の立場の貴重な意見が聞けて有意義でした。</p> <p>歩道の構造基準などは、関係機関と連携してマニュアルとしてまとめたい。</p> <p>信号機の音声など、他の機関に関する要望については、本日の声を届けていきたい。</p> <p>甲府駅南口修景事業にも、障害者の皆さんの声を取り入れた計画になるよう、一緒に進めていきたい。</p> <p>UDの姿勢にあるように、土木事業、公共施設の整備に当たっては、いろいろな立場の意見を聴き、利用する人と一緒に造っていくことが大事だと思う。</p>	